

令和7年度 岩手県立福岡高等学校（定時制）経営計画

校長：佐々木伸良

1 校訓・教育目標	<p>【校是】文武両道・質実剛健</p> <p>【教育目標】知・徳・体の調和のとれた人間の育成</p> <p>(1) 光輝ある伝統を継承し、善美な校風を創成する</p> <p>(2) 自己練磨に努め、社会に有為な人材を育成する</p> <p>(3) 順法精神を尊び、地域社会等の公共的価値観を共有できる人間を育成する</p> <p>【キーコンセプト】地域の信頼に応える福岡高校</p>			
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	<p>(1) 働きながら高校を卒業したいと考えている生徒を育てます</p> <p>(2) 多様な人とのコミュニケーションを大切にし、協働する姿勢を育てます</p> <p>(3) 自分の未来に希望を持って、自分らしい生き方を見つけていく力を育てます</p>		
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	<p>(1) 基礎学力の向上のために、わかりやすい対話的な授業を展開します</p> <p>(2) 豊かな人間性を育むために、生徒主体の学校行事や総合的な探究の時間に取り組みます</p> <p>(3) 職業観や社会規範を身につけるために、インターンシップを実施します</p> <p>(4) 学校活動の振り返りを通して、成長を実感できる学びを進めます</p>		
	(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	<p>(1) 将来に向けて新しいことにチャレンジしたい生徒</p> <p>(2) 学習内容の習得に向けて地道に努力する生徒</p> <p>(3) 他者への思いやりを持って行動できる生徒</p> <p>(4) 働きながら高校を卒業したいと考えている生徒</p>		
3 魅力化協働パートナー	<p>●二戸市 ●カシオペアカーリング協会 ●定時制保護者会等</p>			
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標	
		ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識を持って行動できる生徒の育成	・基本的な生活習慣に関する指導が適切だと回答した生徒【85%以上】	
		イ 学習の基礎基本の定着と学力の向上	・授業が分かりやすく、学力が身についていると回答した生徒【80%以上】	
		ウ 自己肯定感ある生徒の育成	・自分には良いところがあると回答した生徒【70%以上】	
		エ キャリア教育の充実と進路希望の実現	・適切な進路情報のもと、進路達成に向けて取り組むことができると回答した生徒【85%以上】	
		オ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・学校はいじめ防止に向けて取り組んでいると回答した生徒の割合【80%以上】	
		カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築	・安心して学校生活を送ることができていると回答した生徒【80%以上】	
	(2) 取組方針	ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識を持って行動できる生徒の育成	(ア) 望ましい生活習慣、生活リズムの形成	(イ) 規範意識の醸成（挨拶、整容、時間管理、情報モラル、交通安全等）
		イ 学習の基礎基本の定着と学力の向上	(ア) 参加型の授業展開による「分かる授業」の実践	(イ) 個々のつまずきに対応した丁寧できめ細かな学習指導
		ウ 自己肯定感ある生徒の育成	(イ) 地域交流によるさまざまな体験や経験を通じた探究活動の充実	(ウ) 各種行事の取組による他者を理解し受容する力と自己肯定感の醸成
	エ キャリア教育の充実と進路希望の実現	(ウ) 各種行事の取組による他者を理解し受容する力と自己肯定感の醸成	(エ) 生徒主体の生徒会活動及び部活動の活性化	
	オ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	(エ) インターンシップ等による職業体験と職業観、勤労観の醸成	(オ) 外部機関との連携による相互理解に基づく職場開拓	
	カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築	(オ) 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	(カ) 全職員による生徒情報の共有と外部機関との連携	
		(カ) 安心して学習できる環境の構築	教育相談体制（いつでも、誰にでも相談できる）の充実	
		(イ) 全職員による生徒情報の共有と外部機関との連携	教育相談体制（いつでも、誰にでも相談できる）の充実	
		(ウ) 安心して学校生活を送ることができていると回答した生徒【80%以上】		
		(ア) 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築		
		(ア) 全教職員等が子どもの権利条約等への理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行う		
		(イ) 不適切な指導についての研修を行い、アンケートによる自己の振り返りを実施		